

平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

<b>事業名</b>	高速道路既存ストック有効活用に関する検討		<b>担当部局庁</b>	道路局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	H24～		<b>担当課室</b>	高速道路課		課長 縄田 正		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	8-29 道路交通の円滑化を推進する				
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、 通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)</b>	現在、「高速道路のあり方検討有識者委員会」で将来の制度のあり方を検討中であり、同委員会の意見を踏まえつつ、これらの事項について検討を行うことを目的とする。							
<b>事業概要 (5行程度以 内。別添可)</b>	高速道路の既存ストックを有効に活用する観点から、本施策は、今後の新たな高速道路料金等(交通量、旅行速度、渋滞量、観光等)について、データ整理・分析を行うものである。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>	予 算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	150
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	-	-	150
	執行額	-	-	-	-	-		
	執行率(%)	-	-	-	-	-		
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	将来の高速道路制度について検討を行うことを目的とする			成果実績	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	今後の新たな高速道路料金等(交通量、旅行速度、渋滞量、観光等)について、データ整理・分析を実施			活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-
					-	-	( - )	( - )
<b>単位当たり コスト</b>	-			算出根拠				
<b>平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	<b>主な増減理由</b>				
	道路交通円滑化推進費	-	150					
	計	-	150					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>料金制度や料金施策は、高速道路のみならず、一般道路を含めた道路ネットワーク全体の交通の最適配分、物流や観光の支援など広く国民にその効果が及ぶものであり、国において整理・分析を行う必要がある。 また、現在の高速道路の料金割引の多くが、H25年度までで終了するため、整理・分析を急ぐ必要があり、事業の優先度は高い。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>調査結果の実際の事業への活用など、効果的な施策として効率的に執行できるよう努めるべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			